

取組方針の変更箇所(案)

令和3年3月16日

第8回 雄物川大規模氾濫時の減災対策協議会

実施済みのため、項目から削除するもの【次の2項目】

1) ハード対策の主な取組

■ 危機管理型ハード対策

ハード	主な取組項目	目標時期	取組機関
2	<雄物川> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	H27年度から R2年度	東北地整

2) ソフト対策の主な取組

【動かす】①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

■ 平時からのリスク情報の周知や防災教育・訓練等に関する取組

動かす	主な取組項目	課題対応	目標時期	取組機関
2	・大洪水から70年・30年キャンペーン「忘れた頃にやってくる雄物川水害」を実施	2,3	H29年度	市町村 秋田県 秋田地方気象台 東北地整

変更する項目【次の18項目】

1) ハード対策の主な取組

■ 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

ハード	主な取組項目	課題対応	目標時期	取組機関	理由
3	・簡易水位計等の基盤整備	1,5	継続実施	市町村 秋田県 東北地整	・実施済みであるが 進捗に伴い位置変 更等があり継続実施 とする ・取組機関の追加
4	・庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策(耐水 化・BCP等ソフト対策を含む)	9,10	継続実施	市町村 秋田県 秋田地方気象台 東北地整	・順次実施している が継続する必要が ある

2) ソフト対策の主な取組

【動かす】① 逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

■ 平時からのリスク情報の周知や防災教育・訓練等に関する取組

動かす	主な取組項目	課題対応	目標時期	取組機関	理由
1	・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施・タイムラインの検証及び改訂・多機関連携型タイムラインの拡充	1,2,4	継続実施	市町村 秋田県 東北農政 東北運輸 秋田地方気象台 東日本旅客鉄道(株) 東北電力(株) 東北地整	・引き続き継続する必要がある ・取組機関の追加
2	・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施	2,3,4	継続実施	市町村 秋田県 東北地整	・引き続き継続する必要がある
3	・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施	2,3,4	継続実施	市町村 秋田県 秋田地方気象台 東北地整	・引き続き継続する必要がある
4	・要配慮者利用施設の管理者への説明会の実施	11	継続実施	市町村 秋田県 秋田地方気象台 東北地整	・引き続き継続する必要がある
5	・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	11	継続実施	市町村 秋田県 秋田地方気象台 東北地整	・引き続き継続する必要がある

2) ソフト対策の主な取組

【動かす】① 逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

■ 平時からのリスク情報の周知や防災教育・訓練等に関する取組

動かす	主な取組項目	課題対応	目標時期	取組機関	理由
6	・地域包括支援センター等との連携	11	継続実施	市町村 秋田県 秋田地方気象台 東北地整	・引き続き継続する必要がある
7	・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成	1,2,4	継続実施	市町村	・引き続き継続する必要がある
8	・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善(水害時の情報入手のし易さをサポート)	1,2	継続実施	秋田地方気象台	・引き続き継続する必要がある
9	・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域(雄物川・玉川・丸子川・横手川・皆瀬川・成瀬川)の公表 ・適切な土地利用の促進	2,3,4	継続実施	市町村 秋田県 東北地整	・引き続き継続する必要がある ・取組機関の統合
10	・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充(防災メール、防災ラジオ、SNS等)	2,3	継続実施	市町村 秋田県 秋田地方気象台 東北地整	・引き続き継続する必要がある

2) ソフト対策の主な取組

【動かす】① 逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

■ 平時からのリスク情報の周知や防災教育・訓練等に関する取組

動かす	主な取組項目	課題対応	目標時期	取組機関	理由
11	・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	2,3	継続実施	秋田地方気象台 東北地整	・引き続き継続する必要がある
12	・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知及びまるごとまちごとハザードマップの推進	2,3,4	継続実施	市町村	・引き続き継続する必要がある
13	・住民の避難情報に関する意識調査などを実施し、取組方針へ反映	2,3 12	随時実施	市町村 東北地整	・引き続き随時実施が必要である

2) ソフト対策の主な取組

【ねばる】② 氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

■ より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

ねばる	主な取組項目	課題対応	目標時期	取組機関	理由
1	・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制を整備	5	継続実施	市町村 秋田県 秋田地方気象台 東北地整	・引き続き継続する必要がある
2	・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施	6	継続実施	市町村 秋田県 秋田地方気象台 東北地整	・引き続き継続する必要がある

■ 既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

ねばる	主な取組項目	課題対応	目標時期	取組機関	理由
5	・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備	8	継続実施	秋田県 東北農政局 東北電力(株) 東北地整	・引き続き継続する必要がある ・取組機関の追加

【戻す】③日常生活及び社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動

■排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

戻す	主な取組項目	課題対応	目標時期	取組機関	理由
1	・排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した氾濫時の緊急排水計画(案)を作成	10	継続実施	市町村 秋田県 東北地整	・引き続き継続する必要がある
2	・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施	10	継続実施	市町村 秋田県 東北地整	・引き続き継続する必要がある